

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年7月10日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 大
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 白土 孝
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 杉浦 功四郎 (TEL) (03)3316-1911
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年2月期第1四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年5月31日）

(1) 経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	9,383	△3.6	704	△13.3	747	△12.9	428	△19.0
25年2月期第1四半期	9,730	1.6	812	95.0	858	105.4	528	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	27.97	27.93
25年2月期第1四半期	34.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	28,232	16,161	57.2
25年2月期	29,849	16,192	54.2

（参考）自己資本 26年2月期第1四半期 16,159百万円 25年2月期 16,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	10.00	—	30.00	40.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,350	△0.6	1,160	10.6	1,230	9.2	620	△8.3	40.47
通 期	39,000	0.9	2,900	6.8	3,030	4.4	1,550	△37.3	101.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	15,597,638株	25年2月期	15,597,638株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	259,941株	25年2月期	277,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	15,321,054株	25年2月期1Q	15,460,097株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成25年3月1日～平成25年5月31日)における我が国の経済は、いわゆる「アベノミクス」に伴う円安・株高を背景に、生産活動や消費マインドの改善が進んでおり、雇用情勢についても、有効求人倍率が上昇するなどの改善の動きがみられます。一方、設備投資は全体的に慎重姿勢が残り、所得環境の先行きにも注意が必要な状況であります。

1) 消費環境の状況

株高による資産効果により宝飾・貴金属などの高額品の販売が好調な半面、衣料品や日用品などへの消費意欲の広がりには時間がかかりそうです。

また、天候については、3月には暖かい日が多かった一方、4月中旬から5月上旬にかけては寒気の影響により全国的に低温となるなど、気温の変動が大きく、衣料品の消費に影響を及ぼしました。

2) 当社の状況

厳しい消費環境のもと、当社は以下のような施策を実施して、顧客満足度の向上を図り、売上・売上総利益の確保に努めております。

①商品施策

商品面におきましては、昨年秋から英ジーンズブランド「リークーパー」の独占販売を本格的に展開しております。また、服飾学校と産学協同企画の機能素材を使用したレディスウェアや、日用品メーカーの衣料用柔軟仕上げ剤の香りがするレディスウェアを発売するなど、話題性のある商品開発を実施、「股上深めのスキニーが欲しい」などのお客様の声を商品開発に取り入れるなど、お客様ニーズに応える品揃えに取り組みました。

更に、今後のPB(プライベートブランド)強化策として、「ネイビー」をリニューアルし、価値のある低価格ベーシックの商品開発を進めております。尚、当第1四半期会計期間におけるPB及びNPB(ナショナルプライベートブランド)のシェアは前年同期と比較して12ポイント増の約50%となりました。

②販売施策

販売促進活動におきましては、昨年好調に推移したプラチナデニムのTVCMを放映するとともに、着こなし提案で好評なフリーマガジン「nana STYLE」vol.8を発行しました。また、モバイル会員向け特典の配信を継続的に実施し集客に努めた結果、モバイル会員は100万人を突破し、多数のお客様の支持を得ました。これらに加えて5月下旬から大創業祭を実施して売上確保に努めております。

③出退店施策

出退店につきましては、6店舗の改装を実施したほか、SC(ショッピングセンター)に12店舗を新規出店した一方、退店2店舗により、当第1四半期会計期間末店舗数は486店舗(前年同四半期比7店舗増加)となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は9,383百万円(前年同四半期比3.6%減)、売上総利益率の前年同四半期比0.4ポイントの改善及び販管費のコントロールによって、営業利益は704百万円(前年同四半期比13.3%減)、経常利益は747百万円(前年同四半期比12.9%減)、四半期純利益は428百万円(前年同四半期比19.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,616百万円減少し、28,232百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1,603百万円減少し、20,243百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,902百万円減少した一方で、売掛金が403百万円、商品が955百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ12百万円減少し、7,988百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ1,585百万円減少し、12,070百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ1,535百万円減少し、9,140百万円となりました。これは主にファクタリング債務が798百万円、未払法人税等が736百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ49百万円減少し、2,930百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ31百万円減少し、16,161百万円となりました。

これは主に四半期純利益を428百万円計上した一方で、剰余金の配当459百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は57.2%となり前事業年度末に比べ3.0ポイント増となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年4月10日付、「平成25年2月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,322	11,419
売掛金	364	767
商品	6,541	7,497
前払費用	371	376
繰延税金資産	187	134
その他	60	47
流動資産合計	21,847	20,243
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	162	159
建物附属設備(純額)	862	981
構築物(純額)	43	42
車両運搬具(純額)	2	1
工具、器具及び備品(純額)	71	77
土地	238	238
その他	3	0
有形固定資産合計	1,384	1,502
無形固定資産	113	112
投資その他の資産		
長期前払費用	201	205
敷金及び保証金	5,358	5,321
繰延税金資産	871	796
その他	127	99
貸倒引当金	△55	△49
投資その他の資産合計	6,503	6,373
固定資産合計	8,001	7,988
資産合計	29,849	28,232

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,302	5,247
ファクタリング債務	2,810	2,011
未払金	537	238
未払法人税等	937	200
未払費用	643	884
賞与引当金	111	206
店舗閉鎖損失引当金	15	11
リース資産減損勘定	222	198
資産除去債務	17	14
その他	78	128
流動負債合計	10,676	9,140
固定負債		
長期未払金	274	262
退職給付引当金	1,379	1,381
転貸損失引当金	265	256
長期預り保証金	219	216
長期リース資産減損勘定	248	206
資産除去債務	592	605
その他	0	—
固定負債合計	2,979	2,930
負債合計	13,656	12,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	9,428	9,395
自己株式	△163	△152
株主資本合計	16,182	16,159
新株予約権	9	1
純資産合計	16,192	16,161
負債純資産合計	29,849	28,232

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	9,730	9,383
売上原価	4,953	4,740
売上総利益	4,777	4,643
販売費及び一般管理費	3,964	3,938
営業利益	812	704
営業外収益		
受取利息	5	5
受取家賃	104	95
その他	51	37
営業外収益合計	161	137
営業外費用		
支払利息	1	0
不動産賃貸費用	98	89
転貸損失引当金繰入額	13	—
その他	1	4
営業外費用合計	115	94
経常利益	858	747
特別利益		
受取違約金	5	4
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7	—
特別利益合計	12	4
特別損失		
固定資産除却損	—	5
店舗閉鎖損失	23	—
減損損失	0	4
特別損失合計	23	9
税引前四半期純利益	847	742
法人税、住民税及び事業税	164	185
法人税等調整額	154	128
法人税等合計	318	314
四半期純利益	528	428

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当第1四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

当社は衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別 前第1四半期累計期間 自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	当第1四半期累計期間 自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日	前年同四半期比	増減
メンズアウター	324百万円	374百万円	115.2%	49百万円
メンズインナー	2,503百万円	2,470百万円	98.7%	△33百万円
メンズボトムス	1,925百万円	1,774百万円	92.1%	△151百万円
レディース	2,771百万円	2,698百万円	97.4%	△73百万円
その他	2,205百万円	2,066百万円	93.7%	△138百万円
合計	9,730百万円	9,383百万円	96.4%	△346百万円

(注) 「その他」は小物、子供服等であります。